

のぞいてみよう！

# 能勢町のお財布事情

平成30年度決算

能勢町 総務部 住民課



# もくじ

はじめに ～「財政」ってなんだろう？～ . . . . . 2

## ① 平成30年度の決算はどうなっているの？

- 歳入（収入）について . . . . . 4～5
- 歳出（支出）について . . . . . 6～7
- どんな事業にお金を使ったの？ . . . . . 8
- 過去と比べてみると？ . . . . . 9

## ② 他のまちと比べてみると？

- 貯金はどれくらいあるの？（基金残高） . . . . . 11～12
- 借金はどれくらいあるの？（地方債残高） . . . . . 13
- 自由に使えるお金の割合はどれくらい？（経常収支比率） . 14
- 借金は返済していけるの？（実質公債費比率） . . . . . 15
- 将来の負担になる借金の割合は？（将来負担比率） . . . . . 16

## ③ 能勢町の課題ってなに？

- ①人口減少 . . . . . 18
- ②高齢者の交通対策 . . . . . 19

おわりに ～町民のみなさまへ～ . . . . . 20

わたしたちの町の財政について  
一緒にみていきましょう！！



お浄(じょう)

るりん

彼女たちは、わがまちの伝統芸能である能勢人形浄瑠璃（じょうるり）をPRしてくれる能勢町公認キャラクターです。

イベントへの出演など、様々な方法で能勢町のPR活動を行っています。

ぜひ応援してくださいね！！

## はじめに ～「財政」ってなんだろう？～



### 「財政」ってなんですか？

地方公共団体が、住民の皆さまに様々なサービスを提供したり、事業を進めるためには、たくさんのお金が必要となります。  
そのお金をどのように調達して、どのように使うか決めることを「財政」と言います。



黒太(くろた)



### この資料の目的はなんですか？

本町の「財政」を知ることは、『能勢町のお財布事情』を知る、ということになります。それは同時に、本町が抱える課題についても見えることにつながるので、行政と町民の皆さまの双方にとって、とても大切なことだと考えています。

この資料は、財政事情を分かりやすく解説し、本町の現状と課題について、共有することを目的としています。

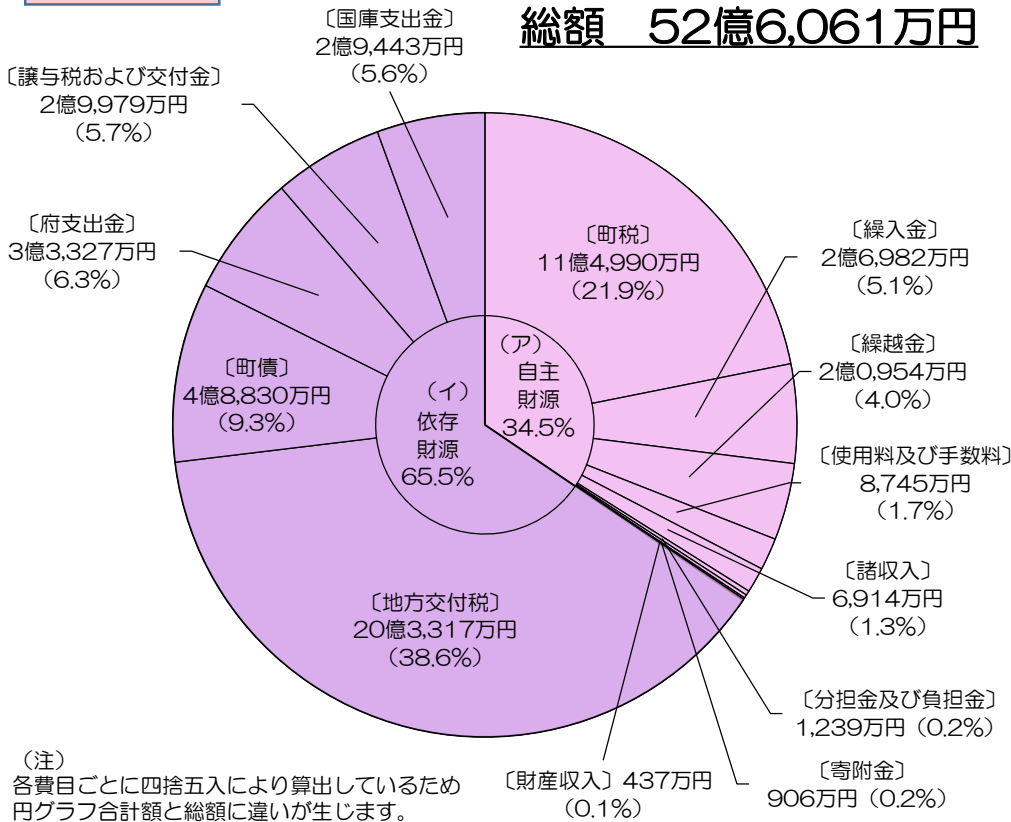


①平成30年度の決算は  
どうなっているの？

# 歳入を見てみよう！

## 歳入

総額 52億6,061万円



## 解説

歳入（1年間の収入）には、町税をはじめ、国からの地方交付税や国庫支出金・府支出金などがあります。その他にも、町債や繰入金など様々な種類の収入によって成り立っています。

グラフを見ると、町税が約22%・地方交付税が約39%となっており、この2種類だけで全体の6割を占めています。

収入はさらに、(ア) 自主財源と(イ) 依存財源に分けられます。自主財源が多いほど、自主的で安定した行政活動ができることになります。本町の自主財源は、歳入全体の約1/3を占めています。残りの約2/3は依存財源になります。

平成30年度の歳入は、前年度よりも約3億円（6%）増加しています。その主な要因は、依存財源の増加となっています。

では、(ア) 自主財源と(イ) 依存財源がどのような内容となっているのか、次のページで詳しく見ていきます。

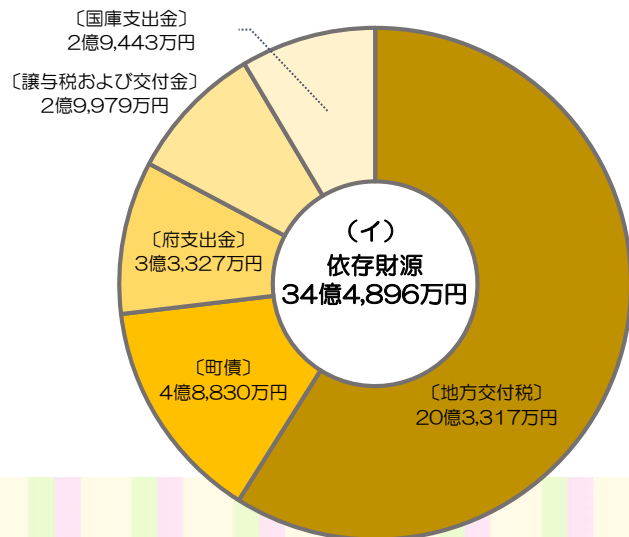
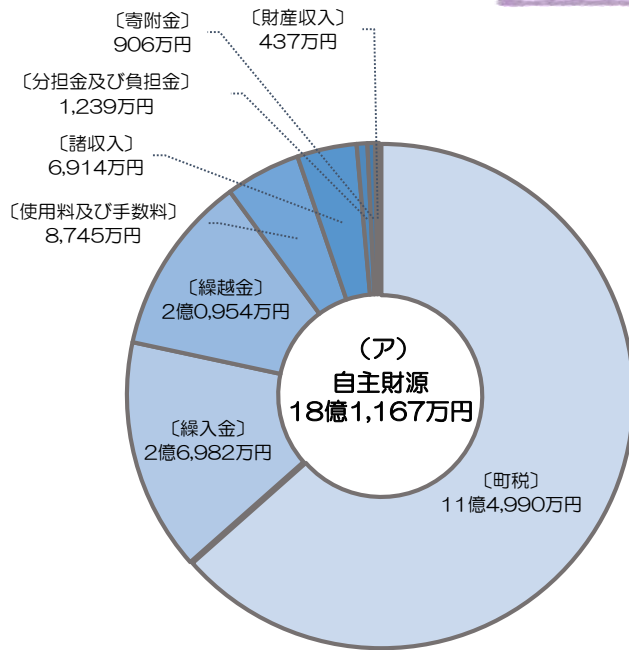
## 用語説明

- 【町債】 …… 施設整備や災害復旧をするときに、財源を確保するために借り入れるお金
- 【繰入金】 …… 経済情勢の悪化や緊急時、計画的な事業の実施時において、事前に積み立てている基金を充てるお金
- 【地方交付税】 …… 地方自治体ごとの税収格差を是正するため、国から配分されるお金
- 【自主財源】 …… 町税や使用料、手数料、寄附金など、町が自主的に収入できるお金
- 【依存財源】 …… 国や府から決められた額を交付されるお金

能勢町の収入はどんな感じなんだろう？

町税と地方交付税の割合が大きいわね。自主財源と依存財源ってなにかしら…？

# 歳入を分析してみよう！



## (ア) 自主財源

自主財源の約63%は町税が占めています。近年は人口の減少とともに、町税が減少している傾向にあります。町税は、前年度から**1,719万円（1.4%）減少**しており、財政運営に大きく影響を及ぼす貴重な財源なので、人口増加策や企業の誘致などを検討し、財源確保の方法を考えなければいけません。

繰入金と繰越金をあわせた4億7,936万円は、前年度もしくはこれまでの財政運営により生まれた収支を基金（貯金）へ積み立てるなどし、本町が確保していた財源です。平成30年度は、7月豪雨や台風21号など大きな災害に見舞われたため、災害対策基金を多額に切崩し（9,928万円）繰り入れたこともあり、自主財源全体で前年度から**4,611万円（26%）増加**しました。

自主財源のほとんどは、上記3つの財源（計16億2,926万円、約90%）で成り立っています。しかし、繰入金も繰越金もそもそも、町税をやりくりした結果、生み出されたものです。つまり、今後も町税の確保が必要不可欠ということになります。

## (イ) 依存財源

本町は、依存財源の割合が高く、その中でも地方交付税は約60%を占めており、財政運営の基盤となっています。

町債や国庫支出金・府支出金は、基本的に、特定の事業を行うために使用するお金です。そのため、本町にとってその事業が本当に必要かどうかを見定め、有効に活用する必要があります。

平成30年度では、町債が前年度から**2億5,510万円増加**しています。その要因としては、災害復旧事業やJアラート整備事業などの建設事業が挙げられます。

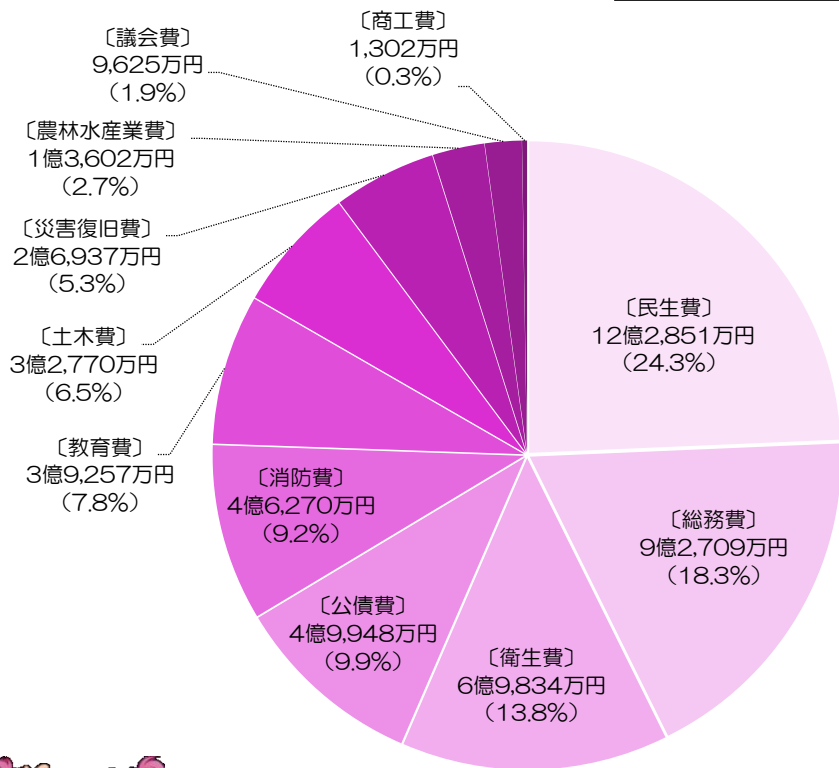
また、国庫支出金・府支出金の8割は福祉関係のためのお金となっています。

依存財源の割合が高い本町にとっては、行政サービスの向上に努めるために、今後も、これらの財源を有効に活用していく必要があります。

# 歳出を目的別にみてみよう！

## 歳出（目的別）

50億5,105万円



目的別の歳出って、どんなものなの？  
民生費っていうのが多いみたいだけど…。

## 解説

歳出（1年間の支出）は、目的別と性質別の2つに分けられます。

目的別とは、各行政分野ごとに分類したもので、町役場の各部・課ごとの仕事の比重を知ることができる分類方法と言えます。

予算をどのような目的で使ったかという視点でみると、福祉関係の予算が組まれている民生費が12億2,851万円と全体の約4分の1となっており、一番多くを占めています。

また、災害復旧費は前年度と比べて2億4,727万円増加しています。その要因は、7月豪雨や台風21号による災害対応によるものです。さらに、今後の災害への対策として、防災対策新規事業を行った結果、支出が増加しています。

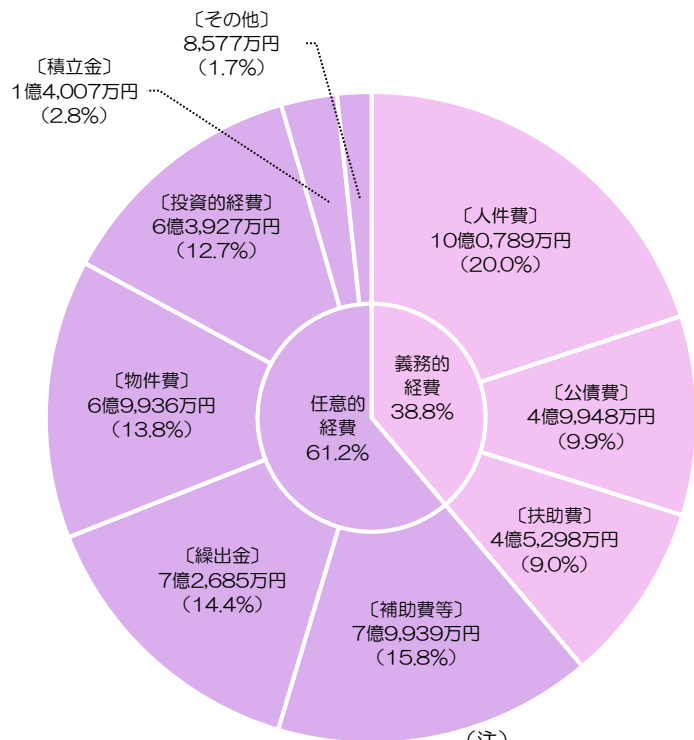
## 用語解説

- 【民生費】 …… 子どもや高齢者、障がい者などの福祉サービスにかかるお金
- 【総務費】 …… 戸籍管理、選挙、交通安全、市税の賦課徴収などにかかるお金
- 【衛生費】 …… ごみ等の収集処理、公害対策、予防接種などにかかるお金
- 【公債費】 …… 町の借金を返済するためのお金

# 歳出を性質別にみてみよう！

## 歳出（性質別）

総額 50億5,105万円



(注) 各費目ごとに四捨五入により算出しているため円グラフ合計額と総額に違いが生じます。

性質別の歳出って、どんなものなの？  
義務的経費と任意的経費って何かな？

## 解説

性質別とは、経費を人件費や物件費などに分類することをいいます。

その中でも、人件費・扶助費・公債費は、「義務的経費」と言い、その支出が義務づけられ、簡単に削減することができない費用を指します。

そのほかに「投資的経費（道路、橋りょう、公共施設建設事業など）」と、「その他の経費（物件費、補助費、扶助費など）」に分類され、この2つをあわせて「任意的経費」といいます。

義務的経費が増加すると、任意的経費に使えるお金が減少します。つまり、自由に使えるお金が少なくなってしまう、ということになります。

平成30年度は、前年度に比べ、工事や災害復旧が含まれる投資的経費が3億5,960万円増加しています。その他は、物件費が3,104万円、公債費が2,758万円増加しています。公債費については、既に発行している町債の返済が始まったことなどによって、1,795万円増加しています。

## 用語解説

- 【人件費】 …… 職員の給与・退職手当等
- 【扶助費】 …… 高齢者・障がい者・生活困窮者・児童などを援助するためのお金
- 【補助費等】 …… 他の地方公共団体や国、法人等に対する助成金や負担金
- 【繰出金】 …… 一般会計と特別会計などの会計間で、一方の会計の収支不足を補うために、他方の会計に支出するお金
- 【物件費】 …… 物品の購入や光熱水費、委託料など、消費的性質のお金



## どんな事業にお金を使ったの？

### Jアラート整備事業・・・1億4,297万円

災害など有事の際の緊急防災安全対策として、国からのJアラートの情報や防災情報を町民の皆さまに素早く伝達する目的で、防災行政無線の整備に合わせて、新型Jアラートを導入しました。



### 消防庁舎新築事業・・・3,050万円

平成28年度から豊中市との消防の広域化が始まりましたが、消防施設及び常備設備のさらなる拡充をめざし、消防体制の充実させる目的で、能勢町分署を新設しました。

※当事業費は、施設建設のための用地買収費を指します。



### 役場新庁舎新築事業・・・・・・495万円

現役場庁舎の老朽化対策と、廃校になった町立久佐々小学校跡地の有効活用のため、旧校舎を解体しその跡地に新庁舎を建設します。庁舎は、災害などが発生した時には、避難所・災害対応拠点として機能します。

※当事業費は、旧校舎の解体実施設計費を指します。

※H30年度からR1年度にかけて、解体工事（2億1,957万円）を実施。

（新庁舎外観・内観パース）



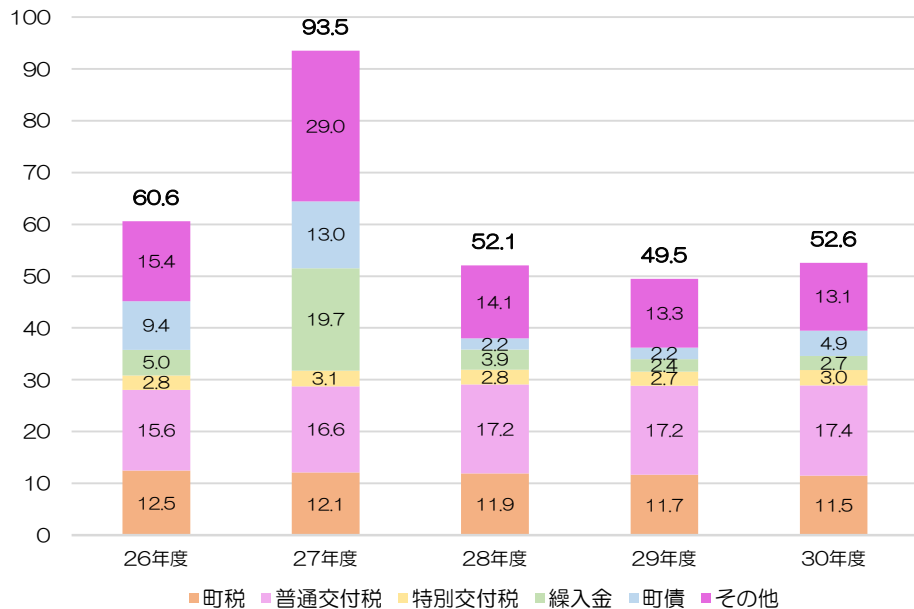
最近自然災害も多いから、みんなの安全のために防災・減災に関わる事業に力を入れているんだね！



# 過去と比べてみると？

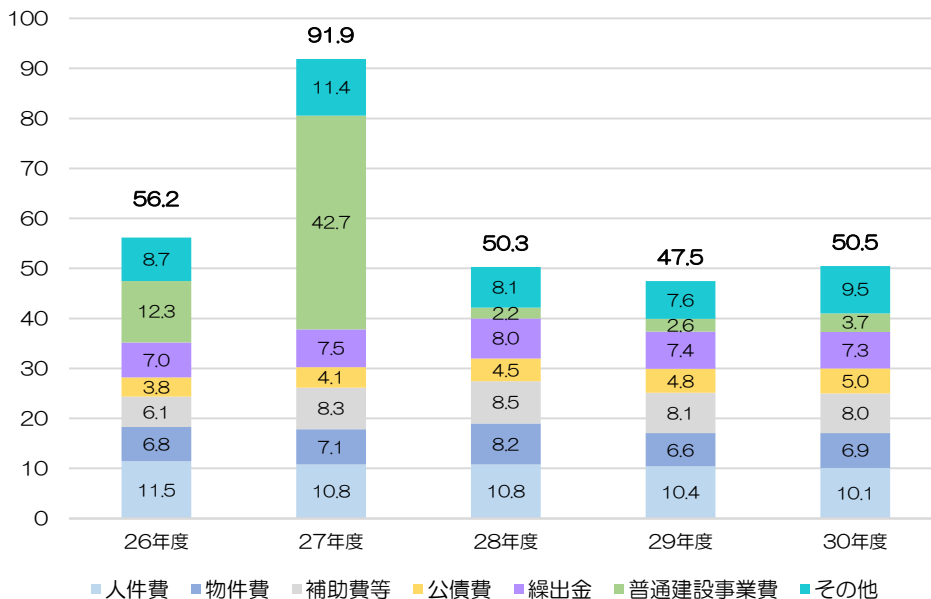
## 歳入推移

(単位：億円)



## 歳出（性質別）推移

(単位：億円)



## 解説（歳入）

平成26・27年度は、少子化による小中学校統廃合に伴う、新しい小・中学校建設事業や、かねてから本町の懸案であった火葬場建設事業に関連した、国支出金や町債、繰入金が増加したため、歳入が多くなりました。

町税は、人口の減少や高齢化の影響で、毎年2,000～3,000万円ほど減少しています。

## 解説（歳出）

歳入と同じく、平成26・27年度は歳出が多くなっています。これは、歳入の解説にもあるとおり、小中学校や火葬場建設により、普通建設事業費が大幅に増加したためです。

また、平成30年度は災害もあったことから、歳出総額は平成29年度より約3億円の増加となりました。

②他のまちと比べてみると？

# 貯金はどれくらいあるの？（基金残高）①

## 基金の設置状況

※H30年度末残高

財政調整基金……………15億228万円

- ・年度間の財源の不均衡を調整し、計画的な財政運営を行うための基金。（S41年3月設置）

環境基金…………… 929万円

- ・環境保全の活動などに充てるための基金。（H14年3月設置）

地域農業活性化基金…… 242万円

- ・農業振興などに充てるための基金。（H15年7月設置）

地域福祉基金 ……………1億409万円

- ・地域福祉の振興に充てるための基金。（H3年12月設置）

町営住宅管理基金 ……………994万円

- ・町営住宅の維持管理に充てるための基金。（H16年3月設置）

退職手当基金 …… 1億9,360万円

- ・退職手当に充てるための基金。（H4年3月設置）

災害対策基金 …… 1億5,182万円

- ・災害が発生した時に緊急対応に充てるための基金。（H7年3月設置）

芸術文化振興基金 …… 2,005万円

- ・伝統芸能等能勢文化の創造に充てるための基金。（H6年3月設置）

## 解説

町には全部で**8つの基金（貯金）**があり、大きく分けると次の2種類になります。

### ①財政調整基金

不測の事態による突然の支出や、景気の悪化によって収入が減ったときなど、財源が不足する年度に活用するものです。

### ②特定目的基金

決まった目的に沿って、計画的に事業等が実施できるよう、特定の使い道に限って取り崩すことができるものです。

基金残高の合計は、平成30年度末では**19億9,349万円**、そのうち財政調整基金は15億228万円です。

平成29年度末と比べると、**3,752万円増加**しています。

## どうして貯金するんだろう？

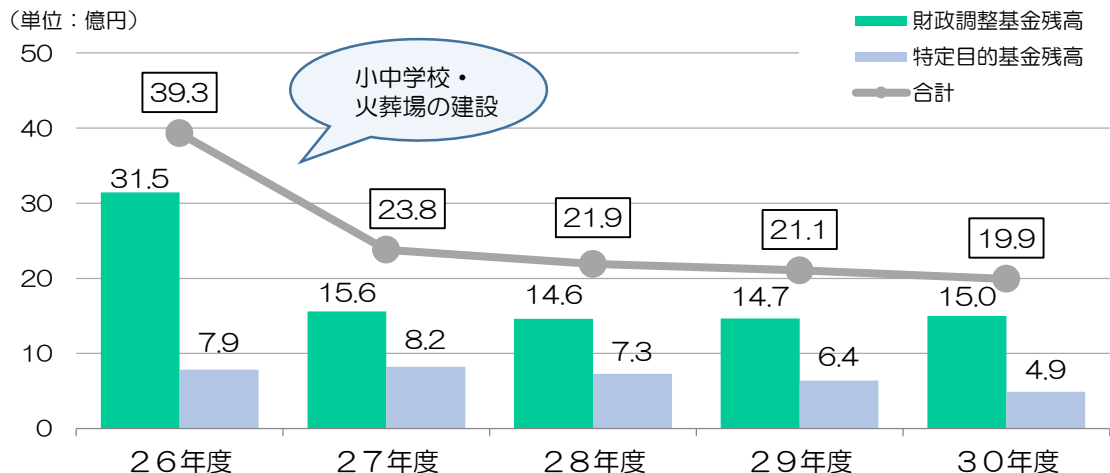
町税などの収入は、経済状況により変化するため、常に一定ではありません。また、地震や台風などの災害や、急激な経済情勢の悪化など、不測の事態が生じる年もあります。

そのような時であっても、自治体は安定した住民サービスを継続して提供していく必要があります。その財源として活用できるよう、貯金をしています。

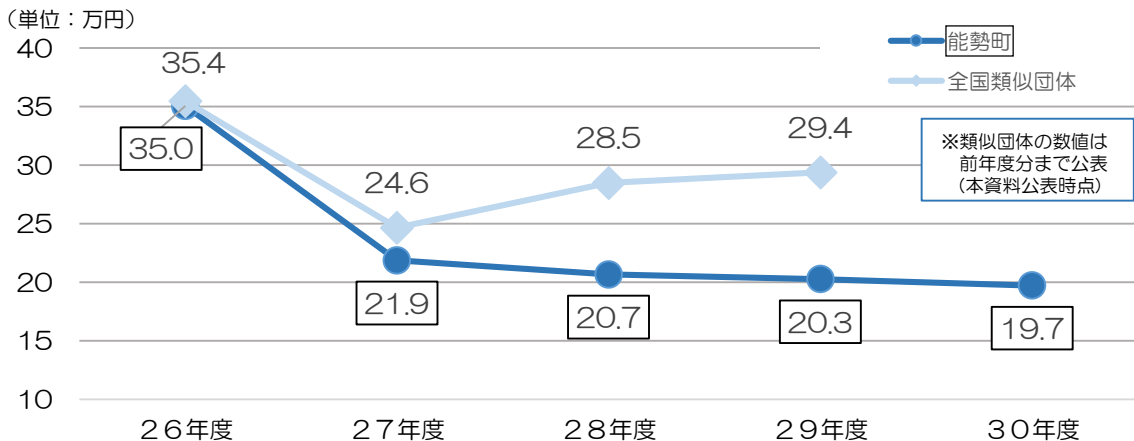


# 貯金はどれくらいあるの？（基金残高）②

## 基金残高の推移比較



## 一人当たり基金残高の推移比較



## 解説

平成30年度末の**財政調整基金の残高**は、前年度末に比べて、**3,752万円増加**しました。そのことにより、3年ぶりに**15億円を上回**りました。

しかし、**財政調整基金・特定目的基金**を合わせた全体の残高は、**20億円を下回**りました。

その要因としては、平成30年度の災害対応による、**災害対策基金の取り崩し**が**9,928万円**と多くなったことが挙げられます。それを含めて、**特定目的基金全体の残額**が**1億4,890万円も減少**したことが影響しています。

また、**住民一人当たり**の基金残高は、前年度末に比べて**5,428円減少**しました。

全国類似団体と比較して少ないのは、上で述べた**特定目的基金**が少ないことも影響しています。

## 用語説明

### 【全国類似団体】

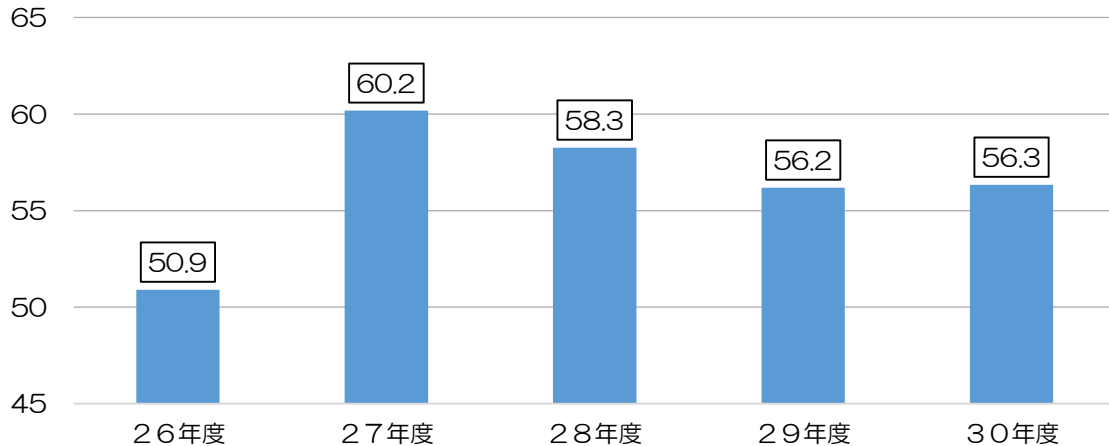
総務省により、人口と産業構造の2要素の組合せによって分類される類型区分。

本資料では、本町との数値比較のために使用しています。

# 借金はどれくらいあるの？（地方債残高）

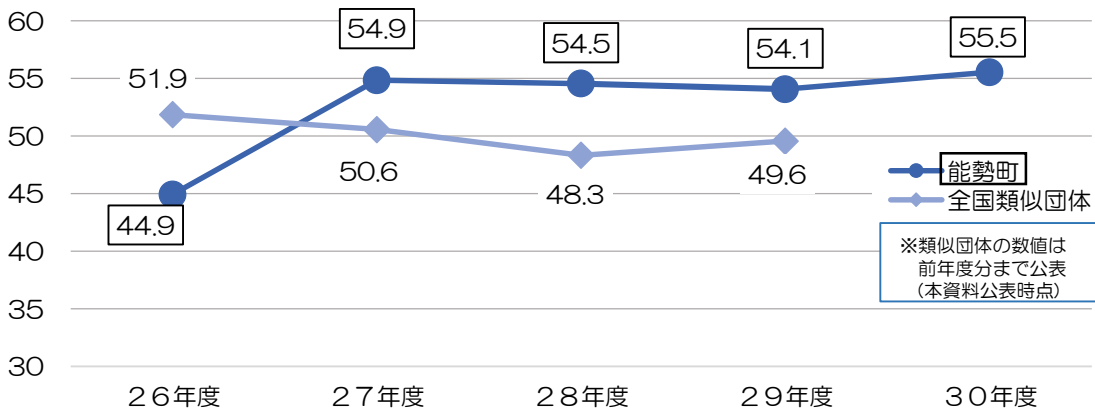
## 地方債残高の推移

（単位：億円）



## 一人当たり地方債残高の推移比較

（単位：万円）



## 解説

町債（地方債）は、建物や道路など、何年も使うような大きな施設の整備事業や、災害など緊急に対応しないといけないときに、町独自に借りるお金のことです。

平成26年度から27年度にかけて、新小中学校を建てるために5億9,710万円、7億5,990万円と2年続けて多額の借入れをしたこともあって、平成26年度に地方債残高が50億円、平成27年度には60億円を超えました。

その後、できる限り借入れを控えたことにより、平成30年度の残高は、**56億1,886万円**になっています。

類似団体に比べると、平成29年度では、**一人当たり45,037円負担額が多くなっています**。これは、平成27年度に、新学校の建設に7億円以上借りたことが大きく影響しています。さらに、**町人口が減少しているため、一人当たりの負担額は多くなる傾向にあります**。

## どうして借金するんだろう？

道路や学校などの公共施設は、数十年利用されます。

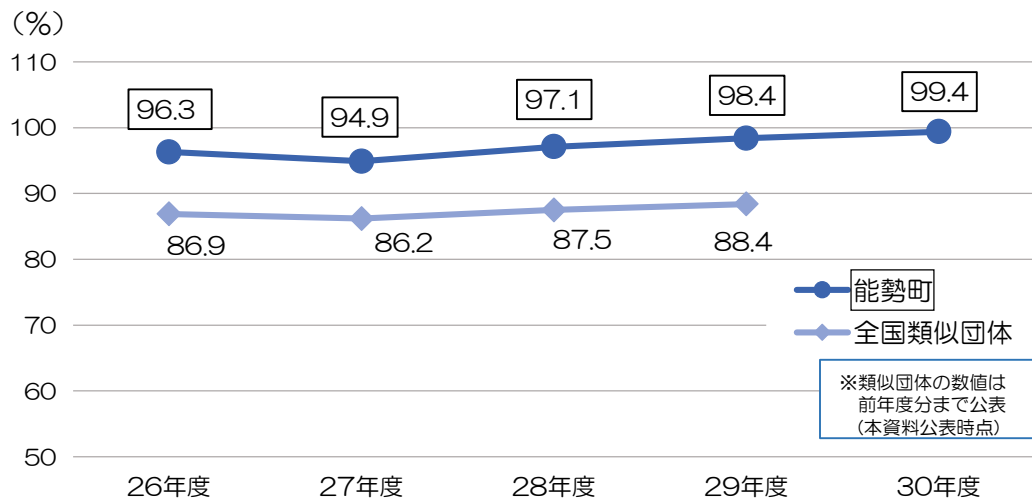
建設した世代の住民だけで建設費を負担すると不公平になるので、分割払いにすることで負担を平等にしています。

また、支払いを均等にすることで、公共施設を建設した年度に、他の事業ができなくなることを防ぐ役割もあります。



# 自由に使えるお金の割合はどれくらい？（経常収支比率）

## 経常収支比率の推移



町税や地方交付税などの毎年度見込まれる収入（経常収入）が、人件費や公債費などの義務的な経費（経常経費）に充てられる割合を表す比率です。

「自由に使えるお金がどれくらいあるか」を示す指標であり、この比率が高くなるほど、新しい事業や貯金に使えるお金が少ない状態と言えます。

財政に余裕があるかが分かるんだね！  
私たちの町は、全国類似団体と比べて数値が少し高いけど、どうしてなんだろう？



## 解説

平成30年度の経常収支比率は99.4%で、前年度（98.4%）に比べて1.0%高くなっています。

数値が高くなった原因は、

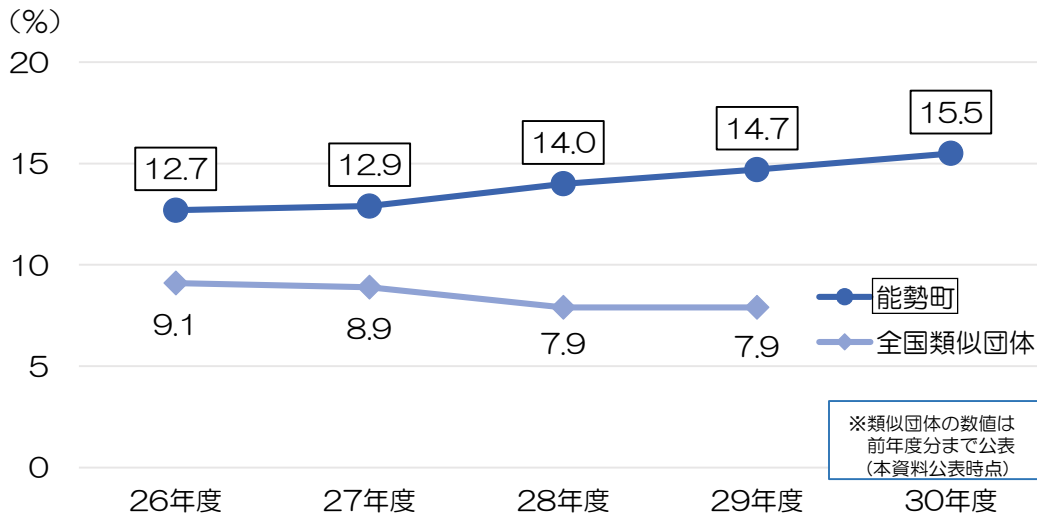
- ①収入について、町税が減ったこと
  - ②支出について、以前に借り入れた町債の返済が始まったこと
- などが挙げられます。

全国類似団体と比べて、10%ほど数値が高い理由は、税収入の差が大きいことや、ごみ処理施設（豊能町・兵庫県川西市・猪名川町と運営している国崎クリーンセンター）や常備消防（豊中市と共同で実施）のような、広域化事業による負担金が多いことなどが挙げられます。



# 借金は返済していけるの？（実質公債費比率）

## 実質公債費比率の推移

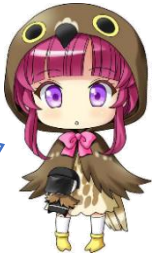


町債の返済金（公債費）が、その年度の収入に占める割合を表す比率です（数値は3ヶ年平均）。

「借金返済にどのくらい支払っているのか」を示す指標であり、この比率が高くなるほど、借金返済の支出が多く、財政の硬直化が進んでいる状態と言えます。



上手く資金繰りができているかどうか分かるってことね！  
私たちの町は、全国類似団体よりも数値が少し高いなあ。  
今後はどうしていくんだろう？



## 解説

平成30年度の実質公債費比率は**15.5%**で、前年度（**14.7%**）に比べて**0.8%**高くなっています。

この数値が18%を超えると危険信号とみなされ、町債の発行について制限を受けることになってしまいます。

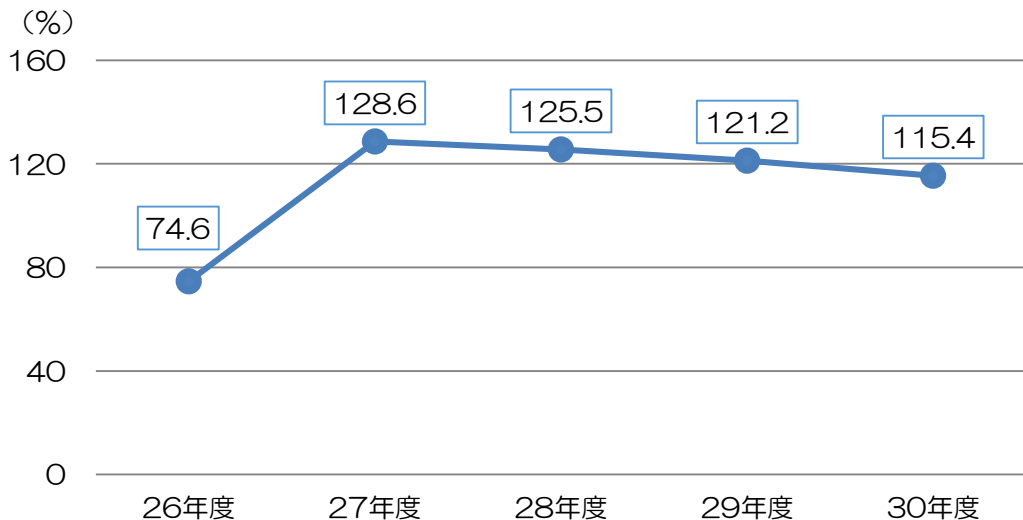
本町は、18%の危険基準は超えていないものの、全国類似団体と比較すると数値が高い状態となっています。

そのため、今後としては、新規事業を行うときは、町債の発行を最小限に抑えつつ、企業誘致を進めるなど、税収増を図っていき、地方債に過度に依存しない財政運営に努める必要があります。



# 将来の負担になる借金の割合は？（将来負担比率）

## 将来負担比率の推移



この先、負担しなければならないお金（町債など）が、その年度の収入に占める割合を表す比率です。

「将来的に財政が圧迫されるか」を示す指標であり、市町村では350%が危険基準とされています。

私たちの町は、危険基準の350%よりも数値が低いけど、100%は超えてるのね。将来、財政は圧迫されたりしないの？



## 解説

平成30年度の将来負担比率は115.4%で、前年度（121.2%）に比べ、5.8%改善しました。

年々、少しずつ改善はしていますが、過去に発行した町債の返済や、下水道事業特別会計への繰出しなどの負担は、今後も継続して支出していく見込みです。

現在取り組んでいる公共施設再編整備事業も、町債を借り入れて行う予定なので、今後は、収入が増えないと比率が上がる可能性が高い、と言えます。

この数値が350%を超えると、危険信号とみなされ、早急に財政運営の健全化に取り組まなければなりません。

本町は現在、350%の危険基準は超えていませんが、100%は超えているため、下水道事業との調整などを行いながら負担を軽減し、財政の健全化に努めていく必要があります。



# ③能勢町の課題ってなに？

# 能勢町の課題ってなに？①

## 課題① 人口減少

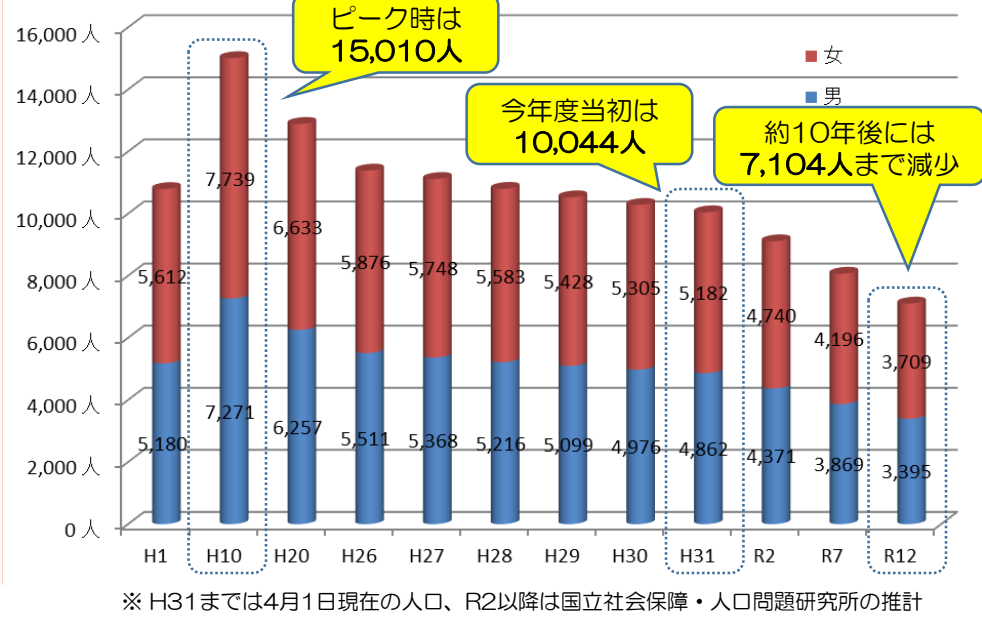
人口減少の課題は、日本全体で起こっていますが、能勢町も例外ではありません。能勢町の人口は、平成10年度のピーク時までは増加していましたが、それ以降は減少を続けており、約20年間で**4,996人(33.1%)**も減っています。

令和元年5月1日現在、ついに人口が1万人を割りました。出生数も少なく、約10年後には7,104人に落ち込むと予想されています。

人口の増減は、財政基盤である町税の収入額も左右します。本町は、この20年間で人口減少に伴い、町税の収入が**10.5%減少**しています。税収の減少に対しては、行政のスリム化などをしていく必要があります。

他にも、人口ピーク時に合わせて作られた公共施設のあり方を見直す必要が出てくるなど、人口減少によって生じる様々な問題に対応していかなければなりません。

能勢町の人口推移



## 今後はどうしていくの？

このまま人口減少が続き、過疎化してしまわないよう、行政として対策を講じていきます。

能勢町の自然の豊かさや文化などの魅力発信や、I・Uターン人口の増加への取組みなどを通じて、地域活性化につながるまちづくりをしていきます。

また、人口減少社会に合わせた行政のスリム化や、老朽化していたり、あまり使われていない公共施設の集約化・複合化などを検討し、歳出を抑えることで、持続可能な行財政運営を目指していきます。



## 能勢町の課題ってなに？②

### 課題② 高齢者の交通対策

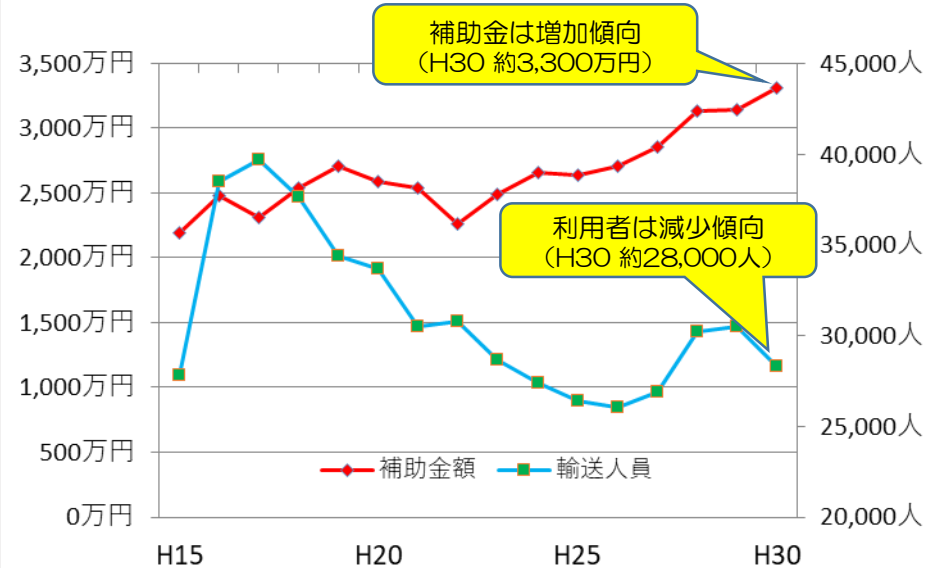
能勢町には電車が通っていないため、住民の皆さま、特に高齢者の方々の重要な交通手段の一つとして、民間バスが運行されています。しかし、人口減少に伴い、民間バスの利用者も減ってきています。民間バスを運行させるにあたり、能勢町から民間バス会社へ赤字額を補助しているのですが、右のグラフのとおり、民間バスの利用者は減少し、補助金は増加しています。つまり、町からの支出が年々大きくなっている状態です。

※（補助金（赤字額）＝運行経費－乗車料金収入）

補助金（赤字）が大きくなるにつれ、それを圧縮するため、民間バスの運行範囲・本数も、以前に比べて随分と縮小されました。そのため、公共交通空白地と呼ばれる、公共交通がない地域や、あっても運行本数が少なく使いづらい地域など、移動に不便な場所が生じています。

今後もこの傾向は続いていくと予想されますので、高齢者の方々の交通対策を講じていく必要があります。

民間バスの輸送人員とバス会社への補助金額の推移



### 今後はどうしていくの？

現在のバス路線の状態を維持し続けていくことは、増加する補助金を考えると財政的には困難と言えます。高齢者の方々の大切な交通手段を確保していくためにも、財政的に持続可能な手段をとらなければなりません。

現在、新しい交通手段を検討している最中です。例えば、公共交通空白地の有償運送や、地域における助け合い活動などが挙げられます。

移動ニーズを踏まえて検討し、内容については随時情報を発信していきます。



## おわりに ～町民のみなさまへ～

能勢町の財政事情は、従来から、非常に厳しい状況が続いております。

増加し続ける経常経費などの支出に対し、財政基盤である町税の収入は減少し続けています。

また、高度経済成長期に建設された公共施設は、老朽化が激しく、その維持管理費も年々増えているため、そのあり方（集約化・複合化）についても検討していかなければいけません。

他にも、水道の広域化や、未解決のダイオキシン問題など、取り組むべき課題は山積している状況の中で、平成30年度には、未曾有の災害が発生し、能勢町の財産である豊かな自然も大きな被害を受けました。

このような状況からも、能勢町は、変化の過渡期にあると言えるかもしれません。

しかしながら、住民の皆さまへのサービスを低下させることなく、この過渡期を乗り越え、活気ある能勢町を取り戻すため全力を尽くしてまいります。

町民の皆さまにも、本町の現状と課題を共有していただき、ご理解・ご協力のもと、能勢町を私たちと一緒に守り続けてくださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



**わたしたちのまち、能勢町の未来について  
これからも一緒に考えていきましょう!!!**

能勢町  
NOSECHO  
OSAKA NO  
TEPPEN

おおさかのてん